

令和7年
9月生まれ



HaPPY BaBies



◆KOFUCITY◆
Hello Kitty
© '26 SANRIO CO., LTD.
APPR. NO. L663828



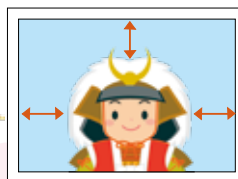
赤ちゃんの写真★大募集★
(令和7年11月生まれ)

スマホで便利な「やまなしくらしねっと」で応募できるようになりました！郵送や持参の場合は、写真(裏に氏名を記載)と住所、氏名、ふりがな、生年月日、電話番号を書いたメモを〒400-8585 甲府市役所情報発信課まで。



10月20日(火) 必着!!

頭部の周辺に
余白があるものを
送ってね!



・赤ちゃんの写真
・名前(下の名前のみ)
・地域
を掲載します♪

とびだせ！市民レポーター！

当たり前の日常を守る！山梨県警察のお仕事

市民の生活に寄り添い、安全・安心を守る警察。ドラマなどで見ることはありますが、実態を知る機会はありません。私たちの「警察」へのイメージは正しいのでしょうか？山梨県警察本部の方に、お話を伺いました。



▲県防災新館

警察のお仕事ってなに？

「一言でいえば市民の皆さまの当たり前の日常を守ることです」と答えてくださった警務課の前野さん。誇りをもって打ち込める職業で、人生を充実させてくれると、魅力を教えてくださいました。



▲警務課の前野さん(左)と総務課の久保田さん(右)

警察の仕事は一般的にイメージする「お巡りさん」や「刑事さん」の仕事をはじめ、交通関係、サイバー犯罪対策などの業務に加え、サテライトオフィス型テレワークのできる事務作業や、県外・海外での勤務など、その内容は多岐にわたります。現在は働き方も見直され、仕事と家庭が両立できる環境も整っているといいます。女性警察官も増えており、休暇や設備、キャリア支援はもちろん、女性だからこそ活躍できる現場もあるそうです。

間口が広がるさまざまな取り組み

職場環境は改善されても、県警の受験者数は減少傾向にあり「なり手不足」が課題となっています。そんな中、今年度から、中途採用者向けに「飛び級採用」制度を導入しました。これは全国初の試みで、社会人経験のある一部の受験者が、通常の「巡査」ではなく一つ上の「巡査部長」として採用されます。今年4月から5月までの募集で、採用予定人数の3人程度を大きく上回る110人から応募があったそうです。また、県警では、警察学校の様子をSNSで発信したり、子どもやお年寄りでもわかりやすい啓発動画を作成したりと「厳しい」「難しい」などのイメージを払拭させる取り組みを行っています。

警察をもっと身近に

防災新館2階のエントランスに、一般の方も気軽に立ち寄れる「ふじ君ひろば」があるのをご存じでしょうか。山梨県警の歴史や、制服・装備品の実物、山岳救助や犯人の追跡などに使用されるヘリの模型があり、貴重な展示を無料で見ることができます。中でもひと際目立つ「白バイ」は、実際に使用されていたものです。また、110番通報を受理する通信指令室や、道路交通情報を収集・提供している交通管制センターの見学も受け付けており、小学生の社会科見学や中学・高校・大学生の職場体験にもぴったりです。



▲午前8時30分～午後5時15分 ※平日のみ



山梨県警察公式
Instagram



山梨県警察公式
YouTube

市民レポーターブログ
もご覧ください▶

【市ホームページ】

市民レポーターブログ

検索



今月の担当レポーター 百瀬 葉月

警察には多種多様な仕事や取り組みがあり、さまざまな角度から地域を守ってくれていることがわかりました。皆さん覚悟をもって警察に入るため、分野が違っても仲間意識が高く、チームワークがとても良いそうです。安全・安心な暮らしには私たち市民の協力も不可欠です。見学やSNSを通じて、リアルな警察への理解を深めてみませんか？

